

平成25年度 ふるさと新居浜応援寄附金

～活用事業のご報告～



皆さまには益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

「ふるさと納税制度」は、平成20年の税制改正により創設され、これまでに多くの方からご寄附をいただき、心より感謝を申し上げます。

平成25年度からは、新居浜市の魅力をPRするため、ご寄附をいただいた方に新居浜市の特産品を贈呈する取組みを開始し、北は北海道から南は沖縄県まで、全国の皆さまから温かいご寄附を賜り、改めてお礼を申し上げます。

今後も、皆さまが「応援したい」と感じていただけるような、魅力あるまちづくりに努めてまいりますので、引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新居浜市長
石川 勝行



～ふるさと新居浜応援寄附金活用事業～

皆さまからお寄せいただいた寄附金 544件/26,225,000円 は、次の事業に活用させていただきました。

快適交流

(44件/570,000円)

駅周辺整備事業

- ・ JR新居浜駅前駐輪場の開設
- ・ JR新居浜駅前交通モニュメント完成
- ・ JR新居浜駅南北自由通路（出逢いロード）完成



JR新居浜駅前駐輪場

JR新居浜駅周辺を「新居浜らしい出会いの場」となるよう、公共施設の整備を行っています。昨年3月には、新居浜駅東側に駐輪場がオープンしました。今年2月には、新居浜駅の南北を連絡する南北自由通路（出逢いロード）の供用を開始しました。この出逢いロードは、安全な歩行空間を確保するために、エレベーターや上屋を備えています。また、北側には展望デッキと公衆トイレを設置し、周辺のにぎわいづくりや利便性の向上を図っています。

環境調和

(123件/3,790,000円)

地球環境の保全

- ・ スーパーでのレジ袋無料配布中止
- ・ 段ボールコンポストの普及促進
- ・ 太陽光発電の普及促進



マイバッグ宣言

新居浜市では、毎年約1万トン近くの生ごみが家庭から排出され、焼却処理しています。家庭から排出される生ごみを、家庭でたい肥化することが、ごみの減量に最も効果的な対策です。家庭で生ごみをたい肥化する方法として、安価な段ボールを使用した「段ボールコンポスト」の普及促進活動を行っています。また、市内のスーパー等とレジ袋の無料配布を中止する協定を締結するとともに「マイバッグ宣言」を行い、レジ袋の削減を推進しています。

経済活力

(95件/6,865,000円)

地場産業の育成

- ・ 新居浜ものづくりブランドの認定

新居浜が有する優れた製品や技術を「新居浜ものづくりブランド」として認定し、愛媛県の「すぐ技データベース」に登録された製品・技術とも連携を図りながら、重点的に販路開拓・受注拡大に努めています。第1回、第2回認定式では、機械・自動装置、板金・溶接、情報サービスなどの分野で、30社の38製品・技術が認定されました。



新居浜ものづくりブランド第1回認定式

観光と物産のブランド力の向上

- ・ 着地型旅行商品の開発
- ・ ラッピングバス・トラック走行開始

新居浜市の観光施設、特産品等の観光素材を見直し、着地型旅行商品企画「別子銅山ハイランドプラン」の企画販売に取り組んでいます。また、新居浜市をPRする新たな媒体として、大阪行き高速バス2台と長距離トラック2台の車体に新居浜太鼓祭りや別子銅山産業遺産等のラッピング広告を施し、昨年11月から走行を開始しました。



ラッピングトラック

健康福祉

(95件/3,970,000円)

子育て支援の充実

- ・医療費公費負担制度の拡充
- ・放課後児童クラブの拡充
- ・子育て世代対象の定住人口拡大促進事業を開始



放課後児童クラブ

若い子育て世代の経済的負担を軽減するため、入院医療費の助成対象を、中学校修了前までに拡大しました。さらに、平成26年度から、歯科医療費の助成対象を、小学校修了前まで拡大しました。

また、定住人口拡大への新たな取組みとして、平成25年度から新たに住宅を取得し、市外から転入した子育て世代（40歳以下）の方を対象に、住宅取得に係る補助制度を開始しました。①住宅取得金額の10%（最大50万円）、②義務教育を終了するまでの子ども1人につき10万円の加算、①②を合わせて最大100万円まで補助します。

教育文化

(135件/9,815,000円)

芸術文化の振興

- ・総合文化施設の建設

JR新居浜駅前に現在建設中の総合文化施設は、にぎわいづくりの中心的な施設として、平成27年度オープンを予定しています。「創る・学ぶ・育む」をコンセプトに、美術館・太鼓台ミュージアム・ホールを備え、文化の継承、発展とひとづくりを目指します。



総合文化施設（イメージ）

教育施設の整備充実

- ・小学校運動場排水整備事業（大生院小学校等）
- ・小学校大規模改造事業（金栄小学校プール改修）

児童・生徒が安全で快適な校舎、体育館で学習できるよう、計画的に教育施設の整備を行っています。平成25年度は、大生院小学校・宮西小学校の運動場排水整備や、金栄小学校のプール改修工事等を実施しました。



金栄小学校プール

自立協働

(8件/100,000円)

安全安心な生活空間の形成

- ・防災緊急情報連絡体制の確立

昨年4月から、防災行政無線・自治会広報連動システムの運用を開始しました。新居浜市防災行政無線と各自治会が所有している放送設備を接続して聴こえる範囲を拡大することで、緊急情報をより確実に伝達することができます。



防災行政無線・自治会広報連動システム

男女共同参画社会の形成

- ・配偶者暴力相談支援センターの設置

DV被害者に対する身近な相談窓口として相談に応じ、被害者の安全確保や一時保護、自立のための情報提供など、相談から自立まで総合的に支援を行う「新居浜市配偶者暴力相談支援センター」を昨年8月1日に開設しました。

あかがね基金

(44件/1,115,000円)

近代化産業遺産の保存活用

- ・東平索道基地等の測量調査



東平(とうなる)索道基地跡

新居浜市には、別子山から臨海部に至るまで、日本の近代化を支えてきた産業遺産が数多く遺されています。平成25年度は、別子銅山産業遺産である東平索道基地及び第三変電所の測量調査を実施しました。

近代化産業遺産の整備

- ・旧端出場水力発電所進入通路防護柵設置



旧端出場(はてば)水力発電所

明治45年に建設された旧端出場水力発電所は、平成23年1月に国の登録有形文化財に登録されました。平成25年度は、旧端出場水力発電所の進入通路に防護柵を設置し、安全対策を行いました。

お知らせ

- 平成26年度から、寄附金の活用分野に【ものづくり産業振興基金】が追加されました!!

○ものづくり産業振興基金とは・・・

新居浜市の地場産業である「ものづくり産業」を活性化させたいという思いから創設された基金です。ものづくり産業振興の事業に充当していく予定です。

平成26年度から、長期総合計画の6つのまちづくりに「あかがね基金」・「ものづくり産業振興基金」を加えた8つの分野から、寄附金の活用分野をお選びいただけます。

- 平成26年度から、お礼の特産品をリニューアルしました!!

○寄附額3万円以上の方への特産品を、5千円から1万円相当にパワーアップしました!

5千円相当の特産品18品から2つ、または、1万円相当の特産品12品から1つお選びいただけます。

○寄附額1万円から3万円未満の方は、2千円相当の特産品17品から1つお選びいただけます。

ふるさと新居浜応援寄附金

お問合せ先

新居浜市役所 企画部 総合政策課

〒792-8585
愛媛県新居浜市一宮町1丁目5番1号

電話：0897-65-1210
FAX：0897-65-1216
Eメール：seisaku@city.niihama.ehime.jp

新居浜市ホームページ
<http://www.city.niihama.lg.jp/>

